

すずがも通信

2017 年 12 月 10 日 発行

ISSN 2185 632X



「千葉エナガ」撮影提供：箕輪義隆氏

普通のエナガよりも顔が白く、シマエナガのようなエナガが千葉で見られています。
今年は観察舎の周辺でもよく観察されています。

☆表紙の写真を募集しています。あなたの力作、お待ちしております！

※すべて載せられるわけではありません。また、スタッフの独断で選ばさせていただきますのでご了承ください。

2018 年の会費納入のお願い(3ページ)

インターンインタビュー〈Part2〉

参加しました♪

「JBF & 東京大感謝祭」

！野鳥病院からの重要なお知らせ！

イベント告知！
『しめ飾り』

フィールドミュージアム/江戸前干潟研究学校

インターンさんに聞きました！Part2

毎年実施しているインターン制度。今期は4名を採用させていただきました。
前号に続き残り2名の感想を掲載します。

<R・Hさん（日本獣医生命科学大学）>

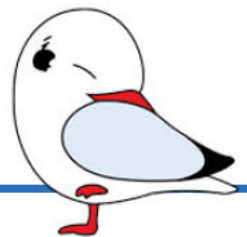
こんにちは！第13期インターン生のHです。

10月31日をもって、無事インターンを修了することができました。5ヶ月間と短い間でしたが、野鳥病院の世話・治療補助、観察会、バンディング等、貴重な体験することができ、また「傷病鳥救護」について深く考える機会となりました。

その中で、とても大切だと思ったことの一つは「知る」こと、そして「伝える」ことです。傷病鳥たちが自らを通して教えてくれる、私たちと野鳥の軋轢を真摯に受けとめ、皆に伝え知ってもらふ必要があると感じました。知らなければ何もできないからです。

ということで、『なんでケガしちゃったの？』ポスターを作ってみました！大人にも子供にもわかりやすいように意識しました。行徳野鳥観察舎のスタッフの皆さまに修正していただいた後、貼り出されるかと思いますので、皆さまぜひ見てみてください！

最後になりましたが、スタッフの皆さま5ヶ月間大変お世話になりました。
楽しく充実したインターンでした。心より感謝申し上げます。
今後もちよこちょ顔を出すかと思いますので、そのときは
どうぞよろしくお願い致します！



<K・Iさん（東邦大学）>

行徳野鳥観察舎友の会でのインターンを志望した動機は、自分の専攻している生物学をより実践的に学ぶことを目指したかったためです。また、教員になることを志望しているので、それに向けたひとつの経験を積むことを目標としました。

傷病鳥の世話や保護区内での活動を体験させていただくことで、日常で何気なく生きているだけでは目の当りにしにくい、貴重な体験をする機会を得ることができました。こちらの活動が様々な方々の支えによって成り立っていること、知ることができました。

インターン期間中に関わってくださった多くの方々へ感謝の気持ちをお伝えしたいです。



(イラスト：スタッフS)

野鳥病院&友の会からのお知らせ

11月5日に島根県で回収されたコブハクチョウの死体から高病原性鳥インフルエンザが確認されました。

これにより国内の対応レベルが1から2に上がりました。

これを受けて野鳥病院では以下の水鳥の新規収容が停止となります。
大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

受入停止となる鳥種(下記環境省マニュアル記載の検査優先種中の水鳥)

- | | |
|-----------------------|-------|
| ・カモ類(カモ目カモ科) | ・オオバン |
| ・カイツブリ類(カイツブリ目カイツブリ科) | ・カワウ |
| ・カモメ類(チドリ目カモメ科) | ・アオサギ |

※レベル3になった場合は検査優先種全て(上記水鳥に加えて猛禽類)が受入停止となります。

※保護区が重点監視区域になった場合は全ての種の新規受入が停止します。

今後も発生状況により受入状況も変化します。
お持ち込みの際はなるべく事前にお問合せ下さい。

野鳥病院(行徳野鳥観察舎) 047-397-9046

2018 年会費ご入金をお願い



いつも友の会を応援してくださり、ありがとうございます。

来年も、ぜひよろしくお願いいたします！

友の会の会費は毎年1月に更新です。封筒の宛先右下に会員期限が記載されております。お手数おかけしますが、期限切れとならないようご入金をお願いいたします。
振込、ご来所時や観察会・イベント時に直接等いずれでも構いません。

賛助会員 3,000 円以上、普通会员 2,000 円、電子会員 1,000 円、
ジュニア会員(18才未満)500 円 法人・団体会員 10,000 円以上

加入者名: 行徳野鳥観察舎友の会

なお、会費は税制上の優遇措置を受けられます。

領収証が必要な方は郵便振替空欄にご記入いただくかメールでご連絡ください。

E-mail: tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp TEL: 070-1491-9898

イベント報告

JBF(ジャパンバードフェスティバル)2017

鳥や自然を愛する人たちが一堂に会する年に一度のお祭りで、我孫子市鳥の博物館や山階鳥類研究所のおひざもと、手賀沼周辺が会場です。

毎年なぜか雨に見舞われるJBF。今年もやっぱり雨の洗礼を受け、足元が悪く場所によっては田んぼ状態だったものの、開催中は晴天の祭り日和となりました。

飲食店や海外からの出店、光学機器メーカー、鳥グッズ、ステージではクイズやライブなどなど盛りだくさん。場所も数カ所で行われているので一日では回り切れません。

友の会ブースも大好評！マスコット色塗り以外にTシャツの販売も。

ひっきりなしのお客様で、少人数体勢で挑むスタッフ達はてんてこまいでしたが、とても充実した2日間でした。



◆ 江戸前干潟研究学校

10/29(日)

保護区の池や海岸に一昼夜網を仕掛け、そこにかかった生物を調査するイベントです

9月に続き台風接近に伴う降雨の中、12名の参加で開催。

さすがに種数も個体数も前月までと比べるとかなり減って来ました。

研究学校初記録となるエビが1匹(現在同定中)の他は特記ありませんが、干上がった後水位の回復した旧淡水池や、ウキゴリが記録されるようになった町田池(前はほぼアメリカザリガニとカダヤシだけ)の今後の動向が楽しみです。(野長瀬 雅樹)

保護区内の生き物を実際に観察しながらプロの先生と一緒に学んでいきます

9/24(日)『トンボと親しむ』

9月にはトンボ。保護区でのトンボ採集と講師の互井さんの用意した標本でのトンボの解説。イトトンボ類はよく見られたものの、例年に無くアキアカネほか赤トンボ類が見当たらずトンボ観察会としては非常に厳しい状況でした。

保護区の環境か、はたまた他の要因か。

(野長瀬 雅樹)



10/8(日)『カニの巣穴』

10月には石膏でカニの巣穴の型どり。

小島岬でコメツキガニの巣穴を中心にチャレンジ。

途中で折れてしまったりうまく流れていなかったり意外と難しかったです。

クロベンケイガニの穴も試しにやってみましたが、思っていた以上に深いらしく、今回は全然掘り出せませんでした。

(野長瀬 雅樹)



固まった石膏を掘り出す



タヌキの足跡



カニの巣穴の型どりにチャレンジ！



次回

11月～3月までは江戸前、フィールドミュージアムともお休みです。

研究会の調査活動やイベント情報をお知らせするメーリングリスト(月1回程度配信)もあります。登録希望の方は友の会までアドレスをご連絡下さい。

(研究会事務局 047-397-9046 担当：野長瀬雅樹)

東京湾大感謝祭2017

東京湾をめぐる一大イベントに、保護区の仲間たちと参加してきました！

東京湾大感謝祭は、2013年から毎年10月に横浜赤レンガ倉庫周辺で開催されているイベント。市民や企業、団体と国や自治体とともに、海の再生を考え、行動するきっかけを提供する場となっています。



保護区の仲間たち

東京湾大感謝祭は荒天のため初日21日のみ開催。保護区のトビハゼ展示に合わせて生き物系 YouTuber の鰐さんにトビハゼの紹介動画を作成いただいたのですが、当日披露できなかったのご紹介。



生き物系 YouTuber 鰐さんチャンネル
動画タイトル

「行徳鳥獣保護区で生き物観察 前編」

(後編もあります)



行徳野鳥観察舎 YouTube SUZUGAMO
動画タイトル「トビハゼ2」

告知！

今年もやります！しめ飾り作り

2017年12月23日(土・祝)10時～12時 ※雨天の場合は翌日に延期

保護区で収穫した稲わらを使ってみんなで楽しくお正月の準備をしませんか？

ちびっこから大人まで楽しめます！**お申込み不要、当日先着順。**

参加費300円

持物：軍手・ハサミ



9・10月 保護区の鳥の様子 ～冬に向けて～

2017年9月から10月の保護区鳥類調査の結果です。この二ヶ月で59種を記録しました。雨の多い涼しい夏でしたが、それでも9月に入った途端に季節が変わったことを感じました。

前回7・8月の記録より23種も増えました。この時期に増えた種は、渡りの途中に保護区に立寄るシギ科やセンダイムシクイ、キビタキなどの小鳥類と、冬鳥であるカルガモを除くカモ科、カイツブリを除くカイツブリ科、オオバン、セグロカモメ、猛禽類、そしてウグイス、メジロ、アオジなどの小鳥類です。

10/20には頭の白くなったカワウ（繁殖羽）の姿が見られるようになりました。カワウの繁殖期は12月頃に始まります。
(川上 正敬)

水鳥類

ヒドリガモ	アマサギ
カルガモ	アオサギ
ハシビロガモ	ダイサギ
オナガガモ	チュウサギ
コガモ	コサギ
ホシハジロ	バン
キンクロハジロ	オオバン
スズガモ	コチドリ
カイツブリ	セイタカシギ
カンムリカイツブリ	アオアシシギ
ハジロカイツブリ	クサシギ
カワウ	イソシギ
ゴイサギ	トウネン
ササゴイ	ウミネコ
	セグロカモメ

その他小鳥など

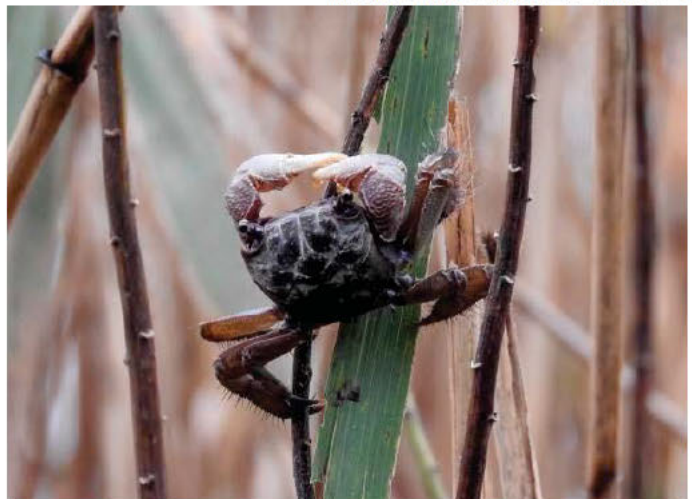
キジ	メジロ
キジバト	オオヨシキリ
カワセミ	セッカ
コゲラ	ムクドリ
モズ	キビタキ
オナガ	スズメ
ハシボソガラス	ハクセキレイ
ハシブトガラス	セグロセキレイ
シジュウカラ	アオジ
ツバメ	ドバト
ヒヨドリ	
ウグイス	
センダイムシクイ	

猛禽類

ミサゴ
トビ
チュウヒ
ツミ
オオタカ
チョウゲンボウ
ハヤブサ

普段は地面で暮らしているクロベンケイガニですが、雨の日や降雨後などにはヨシやセイタカアワダチソウの茎を登っている姿が観察されます。植物の葉を食べに上がっているようですが、目線の高さでカニを見るのはちょっと不思議な感覚です。

(行徳野鳥観察舎日誌より)



イベント案内

●→雨天中止 ★→荒天中止 ☆→小雨決行

●ボランティアデー(毎月第4土曜)

スタッフと一緒に保護区の管理作業をしてみませんか?

12/23、1/27 13時～16時ごろ

集合：行徳野鳥観察舎前

作業内容は未定。開催日の3日前～前日に
下記連絡先(観察舎)にてご確認ください。

お楽しみに!

祝日でも開催

<前回>



← 9/23 湊(みなと)池
棚田稲刈り
(参加者 15名)

10/28 湊(みなと)池
棚田稲刈り
(参加者 6名)

12/23(土・祝) しめ飾り作り 雨天翌日

保護区で収穫した稲わらでお正月の準備!

年末恒例、保護区産稲わらによる正月飾り作り。

10時～12時 当日受付

参加費 300円 持物：軍手・ハサミ

☆ 日本野鳥の会東京主催 Young 探鳥会

新年の鳥見初めは保護区で!

導流堤辺りから初日の出を見た後、霜の残る
早朝の保護区を歩きます。

主催 日本野鳥の会東京

2018年 1/1(元旦) AM6:40～9:00

集合 行徳野鳥観察舎前

参加費 200円 (18歳未満無料)

元旦参り向け終夜運転をご利用ください。

元旦は朝6時より9時までは観察舎1階の
トイレが利用可能です。

定例観察会

●定例園内観察会(毎週日曜・祝日)

集合：行徳野鳥観察舎前 13時半～15時半

★定例新浜探鳥会(毎月第2日曜日) 1月14日、2月11日

集合：行徳駅前広場(改札出て左) 10時～ 持ち物：昼食、飲み物

参加費：200円(18歳未満は無料) 「放水路経由コース」は+バス代 400円(子供 200円)

・「新浜保護区コース」保護区内→観察舎前/解散 13時半

・「放水路経由コース」バスで江戸川放水路まで→保護区内→観察舎前/解散 15時半

◎主催：行徳野鳥観察舎友の会、日本野鳥の会東京、千葉県野鳥の会

☆夕暮れ観察会(毎月第4土曜日) 12月23日、1月27日

集合：行徳野鳥観察舎前 16時～18時 ※10月～1月は集合時間が30分早くなります。

●平日観察会(第1木曜日 ※祝日の場合は翌週) 1月4日、2月1日

集合：行徳野鳥観察舎前 10時～12時

●ミニガイド(毎週土曜日 ※第4土曜日・祝日・イベントがある日はお休み)

集合：行徳野鳥観察舎 13時半～14時

すがも通信 No.227(隔月発行) 2017年12月10日発行 *****

発行所 認定特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会

TEL 070-1491-9898(直通) mail tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp
[千葉県行徳野鳥観察舎 〒272-0137 市川市福栄4-22-11 TEL 047-397-9046]
URL <http://gyotokubird.wixsite.com/npofgbo>

印刷 株式会社プリントバック

編集 堀江聡美、岩崎加奈子



Instagram



Twitter

年会費

- ・賛助 3000円以上
- ・普通 2000円
- ・電子 1000円
- ・ジュニア(18歳以下)500円
- ・法人・団体 10000円以上